

古書街の魅力 一発検索



神保町交差点から徒歩2分。赤い屋根が目印の長屋風建物の1階に案内所がオープンしたのは昨年10月だ。神保町付近の約170の古書店が加盟する「神田古書店連盟」(中野智之会長)が空き店舗を借り受け、地域を応援するNPOや有志がボランティアで運営に携わってきた。

40平方メートル程度のスペースには、無料で使えるパソコンが2台とタッチパネル式の大型端末が1台。週末には200人以上、平日も80人前後が訪れ、周辺の古書店が所蔵する約40万冊の古書を検索したり、目当ての古書店の場所を調べたりしている。特定のジャンルに強い古書店の名前を探したり、また、レストランやスポーツ用品店、楽器屋など、古書店以外のスポットも調べたりできるのも特徴だ。

案内所がオープンしてからこの街の一番の変化は、新たな客層が増えたこと。裏通りにある映画や写真集がメインの「石田書房」店主・石田由美子さん(53)は「これまで客の

神保町に案内所

本の街・神保町に昨年オープンした「本と街の案内所」(千代田区神田神保町1)が人気を集めている。週末には200人以上が立ち寄るなど、さながら街の情報発信基地に。来月12日まで、街の景色を切り取った写真展も開催しており、古書店主らは「神保町の街を訪れるきっかけになれば」と話している。

(加納昭彦)

PCに40万冊情報

若い女性に人気

多くは常連の古書マニアや近くの大学生でしかけれど、案内所ができてからは昔の映画のパンフレットを探し求める若い女性客も増えましただね」とうれしそうに語る。このほか、浮世絵や古いアニメの本などを探す外国人観光客や、

初めて神保町を訪れたという人も案内所をよく訪れるという。中野会長も「敷居が高い」と神保町を敬遠していた人も多いはず。これからは案内所を拠点に街歩きを楽しんで」と話している。



パソコンや大画面の端末で古書店の位置情報などを検索できる案内所

案内所の奥では、6月12日までプロのカメラマンが撮影した写真展「神保町写真帖」も開かれている。案内所の運営に携わるNPO法人「連想出版」の企画で、積み上げられた専門書の山や古書店を営む家族の肖像など街の魅力を伝える約60枚が展示されている。

案内所は午前11時～午後5時半。無休。利用は無料。問い合わせは中野書店 ☎3261・3522。

街の魅力伝える写真展も開催中



開催中の写真展では、古書店を営む親子の肖像写真などが並ぶ